

中国地域半導体関連産業振興協議会 第1回会合 意見交換要旨

<人材育成・確保>

- ・大学での教育や小中高生への教育活動で連携してきたが、この動きを今後も継続して発展させ、中国地域での教育効果をさらに高めたい。また、今後はこの協議会を通じて各大学との共同活動の拡充を図り、幅広く連携させていただきたい。(企業)
- ・高専と連携してキャリア教育を始めたところだが、後は他の高専とも連携して活動を拡充したい。(企業)
- ・後は大学高専の高等教育だけでなく、小中高生への教育にも注力したいが、対象者が多くなるため地域企業と協力しながら進める必要がある。(企業)
- ・当校では卒業生の半数が大学進学、半数が就職するが、大学で学ぶ専門的教育につながる内容を学生に学ばせたいと考えている。(高専)
- ・高専としてはものづくりが強みだが、半導体分野では関連設備や装置を単独で持つことが難しいのが現状で、地元企業に協力頂き、インターンシップ等教育の場を提供することで、学生に基礎学力と実践の両方を学ばせて育てたいと考えている。(高専)
- ・小中高校生の段階から理系に関心を持ってもらうためには、地方自治体、県や市町が企業と連携して検討する必要がある。(自治体)
- ・中国地域内で育てた人材には、できれば地域内に就職してもらいたいところだが、全国で人材が不足しているので、日本国内で人材育成に取り組む必要があり、人材供給に向けて大学や高専の定員を増やすことなどを国に働きかけていきたいと考えている。(自治体)
- ・事業面ではレガシーのアナログやパワー半導体を生産しているが、この分野は今後も拡大する市場であると思うので、継続して生産活動できるよう人材確保が必要。(企業)
- ・技術者の平均年齢が上がり、若い人材を採用したいと考えている。(企業)
- ・地元の人材、小中高生も含めて半導体がどのようなものか知ってもらい、半導体に興味を持ってもらい、将来的に理系に進んでもらい、毎年数人でも良いので当社に入社してもらいたい。(企業)
- ・人材派遣業としては、育成できる領域とできない領域がある中で、設備メンテナンスは人材を育てられる分野と認識している。(企業)
- ・現在は全国的に半導体人材、オペレータも含めて特にエンジニアが慢性的に不足した状態であり、当社はそこで存在意義を持ち、中途採用を含めて積極的に半導体業界に人材を供給することが役割と考えている。(企業)
- ・異業種からの人材や未経験者を半導体分野に供給するため、全国に数カ所の研修所を構え、半導体装置の実機を導入し、実践に近い教育を行っており、すでに半導体業界で働いている技術者のレベルアップ、そして未経験者をなるべく即戦力に近い形で送り出すという目標を持って取り組んでいる。(企業)
- ・中国地域でも新たな研修施設を創設する考えもあり、この地域に即したカリキュラムを作るという課題もある。(企業)

<サプライチェーン強靱化・集積強化>

- ・当社の工場配置から考えると中国地域で完結させることは難しいため、協議会の活動を他地域と連携する形にして頂けると有難い。(企業)
- ・サプライチェーン強化に向けて、半導体は当社が生産する装置だけで作れないため、全体としての取組が必要。(企業)
- ・製造装置のサプライチェーンで重要な点は3つあり、1つ目は世界レベルの性能、2つ目は品質の安定、3つ目は在庫。(企業)
- ・10年先を見ると右肩上がりの業界だが、1年や半年のベースではアップダウンも多く、官民で考えていかなければサプライチェーン強化も簡単ではない。(企業)
- ・物資がなかなか入らない状況なので、品質や性能等も加味し、新しいチャレンジの際はチャンスと捉えてアクションに繋げていただきたい。(企業)
- ・市内に半導体関連企業の立地があり、技術者や研究者が多くいらっしゃることを踏まえ、年に2回程度関係者が一堂に会するコミュニケーションの場を作ろうと考えている。1回目は来年1月頃の前定で、半導体関連企業から最新トピックスや今後の見通し、大学から半導体関連の先端研究の取組、情報誌製作会社から今後の市況予測などを紹介してもらい、半導体業界への共通理解を促進する場を作ることで、半導体関連産業のさらなる発展に市として貢献したいと考えている。(自治体)
- ・「中小企業が単独では技術開発が難しい」というご意見があるが、全国規模での共用装置・設備事業で施設・装置を使いやすい仕組みとして「ARIM マテリアル先端リサーチインフラ(旧称: ナノテクノロジー・プラットフォーム)」があり、当学では6nmの微細加工までできるため、ご利用いただきたい。(大学)
- ・半導体業界は実際には数カ月で大きく動くため、研究面での問題意識としてスピード感が不足していると感じる。「せとうち半導体共創コンソーシアム」を設立して、官民と大学が連携してスピーディに支援を進めたいと考えているので、こちらにもご協力をお願いしたい。(大学)

以 上